

2024年 1月 24日

鹿児島大学病院で肺高血圧症に対し内服治療を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究を行っております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

肺高血圧症の初回内服治療における副作用発現の頻度と特徴および看護ケアの実態

【研究の目的】

肺高血圧症で内服薬を導入した患者様の副作用の状況を詳細に把握し、よりよい看護介入方法を検討します。

【研究の方法】

2016年から2022年に肺高血圧症に対し、内服治療を導入するため入院した方のカルテから、副作用の出現状況や看護介入の内容などを振り返り、現状を知ることによって今後の看護の質の向上を目指します。カルテの記録から得た情報を統計的に解析し、傾向や特徴を分析します。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2025年12月6日

【対象となる患者さん】

2016年1月1日から2022年12月31日までに、鹿児島大学病院心臓血管内科で肺高血圧症（肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓塞栓性肺高血圧症）と診断され、内服による治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

性別：男女 年齢：年齢層、既往歴、身長、体重、血圧、疾患、服用薬剤（肺血管拡張薬）、入院期間、副作用（頭痛、嘔吐、下痢、食欲不振、顔面のほてり、血圧低下：医師指示の血圧指示に従う）の有無、対症療法の有無、副作用の出現状況、患者のS情報、看護記録のO情報、生活習慣（ブレスローの7つの健康習慣の内、カルテ記録から把握できるもの：睡眠、喫煙、体重、飲酒、運動、等）についてデータを得ます。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

〔研究責任者〕

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師 田島 雄司

〔研究協力者〕

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師 中木原 もも

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師 石塚 有稀

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師 小長井 悠里

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師 戸島 典佳

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師 大串 勇貴

鹿児島大学病院 A 棟 8 階病棟 看護師 中島 郁子

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 副看護師長 脇岡 奈津子

鹿児島大学病院 A 棟 8 階病棟 副看護師長 山下 浩美

鹿児島大学病院 B 棟 4 階病棟 看護師長 塗木 さゆり

鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻基幹看護学講座 助教 李 慧瑛

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 橋口 照人

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、後向き研究であり、カルテからの情報収集のため、研究費用は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 A 棟 HCU 病棟

看護師 田島雄司

電話 099-275-6576 FAX (A 棟 8 階病棟) 099-275-6397